



※ 積雪地方農村経済調査所庁舎、登録有形文化財へ ※

4月25日、旧農林省積雪地方農村経済調査所庁舎(以下『雪調庁舎』)が国指定登録有形文化財への登録告示がありました。

雪調庁舎は、急勾配の切り妻屋根とドーマ窓が特徴。昭和12年に戦前の大蔵省営繕管財局が設計した数少ない建築物。雪国の人々の生活を豊かにしようと、暮らしの特徴を科学的に調査・研究し、実際に人々に指導していました。

現在は雪の里情報館として、その歴史や功績を紹介しています。



登録となった庁舎



登録の証書とプレート

※ 5月18日(日) 雪セミナー/フィールドワークを開催しました ※

5月18日(日)に、第74回市民雪セミナー『最上川揚水を訪ねる～張り巡らされた農業インフラ～』を開催し、20名の方にご参加いただきました。

雪の里情報館からバスに乗り、講師の新庄土地改良区、鏡利光氏に解説をしていただきながら、揚水施設を見学しました。参加者からは『初めて見聞きすることはばかりで、大変勉強になった』『新庄の農業インフラの実際を見ることができ、整備の過程、規模の大きさ、管理の現状に関心を持ち、驚きであった。』などの声が聞かれました。

かんがい域の要所を訪ねることで、その概要と整備が進められてきた歩みを知り、郷土に対する理解と愛着を深めるきっかけとなりました。



コースの概要を聞いていよいよ出発



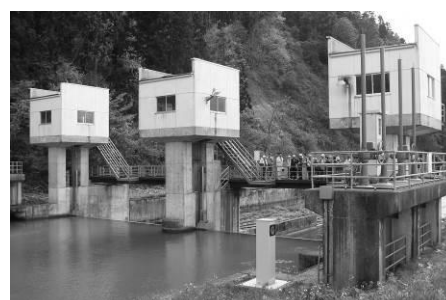
清水揚水機場にて



圃場の水路に吐水(角沢地区)



駒場頭首工にて



当日の見学地

- 清水揚水機場
- ～ 駒場頭首工
- ～ 小月野揚水機場
- ～ 小泉堤

高橋幸夫能面展 開催中

『静寂と饒舌～高橋幸夫能面展～』を1F雪国ギャラリーにて開催しております。

数多くの作品の中より厳選した約40点を展示。職人である作者の繊細かつ多様な



造詣により、たくさんの表情が魅せます。

6月25日(水)までの開催です。

日本独特の幽玄美をぜひご堪能ください。

セミナー情報

次回の市民雪セミナーは、下記の内容で予定しております。

第75回市民雪セミナー

6月29日(日) 13:30～16:00 受講無料

雪の里情報館 2F 雪国文化ホール

『ほんとうにだいじょうぶ?日本の食糧!』

～世界の食糧事情を知り、日本の食と農を考える～

講師: 放送大学山形学習センター所長

飯澤英昭 教授

皆さまのご参加をお待ちしております。

展示室のご紹介

その1

第3展示室には～

～雪害救済運動の先駆者松岡俊三の偉業～

積雪、寒冷による各種被害、不利益…

大正末から昭和初め、雪国農村はとても疲弊していました。山形県楯岡(現村山市)出身の衆議院議員松岡俊三先生は、窮状を目のあたりにして雪国救済の必要性を強く感じ、政府に対してそのための施策を訴え続けました。

それはやがて政府を動かし…

その2 第3展示室には～

～実験農家(今和次郎設計)～

高床で急勾配の屋根。現在普及している克雪型住宅の原型となっている実験農家。

雪下ろしと下ろした雪の片付けから解放されれば、その労力は現金収入のための仕事に充てることができ、家計は成り立つのではないかということを検証するものでした。

そこに標準的な一家に通年で生活してもらうことになりました。果たして、家計の収支は?!

続きは、ぜひ雪の里情報館まで。雪の里情報館は入館無料です。

会議室の貸出料金表

※夜間使用は金曜日のみ

■雪国文化ホールー100人程度の会議・講演会・発表会などで使用

午前(9:00～12:00)	午後(13:00～17:00)	夜間(18:00～22:00)
2,590円	3,450円	3,790円

■情報交流室 } 20人程度の会議・研修などで使用
■視聴覚研究室 }

午前(9:00～12:00)	午後(13:00～17:00)	夜間(18:00～22:00)
570円	770円	850円

いつもピカピカで気持ちの良い会議ができますよ!

★仮予約は半年前から。3日前まで申請・納金してくださいね。

【お問い合わせ】

雪の里情報館

TEL 0233(22)7891

